

1. 科目名(単位数)	英文学(作家・作品論) (2単位)	3. 科目番号	EDEN3318
2. 授業担当教員	山口 敬雄		
4. 授業形態	講義、発表、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	英語講読I、II、IVを履修済みであること		
7. 講義概要	この授業では、イギリス文学の歴史的な主潮を概観し、イギリス文学の主要作家と作品を考察するとともに、各々の作家とその作品の時間的・空間的特徴および文化的背景をも明らかにして、今日の国際化社会で不可欠のグローバルな視野を広げることを目的とする。また、各主要作家の主要作品の名場面あるいは名文の一部を読んで、作品の真髄に触れ、名作や古典と呼ばれる所以を知ることができるようにする。 文学の歴史的考察は、文化史的視点とも重なり合い、密接に関連しあう側面を有している。その意味では、「英文学(作家・作品論)」は「異文化理解」を補完し、深化させる役割をも果たしているといえる。		
8. 学習目標	1. イギリス文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。 2. イギリス文学作品で描かれている、国と地域の文化について理解している。 3. イギリス文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表できるようになることに加え、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになる。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	1. 英語長文の基本的な構文と特殊構文(倒置、強調構文、省略等)を総点検するための練習問題を毎週課す。学習方法や課題の提出方法等については、初回に詳しく説明する。 2. 学習したことに対して自分の意見を持つことが大切なので、イギリス文学から何を感じ、何を得たかについて自己の見解をレポート(2,000字程度)にまとめて提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 プリントを使用する。 【参考書】 G&V Classics, <i>English Literature in Context: An Introductory Anthology, Vol. 1.</i> G&V Classics, 2018 石塚久郎ら編著『イギリス文学入門[新版]』三修社、2023年 Jonathan Bate, <i>English Literature: A Very Short Introduction.</i> Oxford University Press, 2010 パット・ロジャーズ編、櫻庭信之監訳『図説イギリス文学史』大修館書店、1990年 神山妙子編著『はじめて学ぶ イギリス文学史』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 イギリス文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表できるようになることに加え、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになったが。 ○評定の方法 レポート 30% 発表 30% 小テスト 20% 受講態度・参加姿勢 20%		
12. 受講生へのメッセージ	この科目は、発表、ディスカッション、レポートの作成に重点を置いて、イギリス文学の修得を目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を順守すること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で受講すること。 2. 理解できないことをそのまましておかないで、自ら進んで質問すること。 3. 授業の欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合には、その理由を必ず教員に報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された場合には、厳格な指導を行う。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的や目標を明確にする。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声をするとともに、専門用語はわかりやすく説明する。 3. 学生が積極的に授業に参加できる学習環境をつくる。 4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合には、厳格に対処する。		
13. オフィスアワー	初回にアナウンスする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	Introduction: 発表とレポートの指導 Overview #1: 英文学の主要時代区分	事前学習	英文学に関して知っていることを発表できるようにまとめておく。
		事後学習	英文学の流れのポイント、発表の仕方とまとめ方を確認する。
第2回	Overview #2: 文学作品の歴史・社会背景	事前学習	プリントの“Overview #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第3回	The Middle Ages #1: 封建制・キリスト教世界観	事前学習	プリントの“The Middle Ages #1”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第4回	The Middle Ages #2: 口承文化から書記文化へ	事前学習	プリントの“The Middle Ages #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第5回	The Renaissance #1: 人文主義	事前学習	プリントの“The Renaissance #1”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正

			し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 6 回	The Renaissance #2: 宗教改革	事前学習	プリントの“The Renaissance #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 7 回	The Renaissance #3: シェイクスピアの時代背景	事前学習	プリントの“The Renaissance #3”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 8 回	The Seventeenth Century #1: 清教徒革命	事前学習	プリントの“The Seventeenth Century #1”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 9 回	The Seventeenth Century #2: 宗教と文学	事前学習	プリントの“The Seventeenth Century #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 10 回	The Eighteenth Century #1: 啓蒙思想	事前学習	プリントの“The Eighteenth Century #1”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 11 回	The Eighteenth Century #2: 小説ジャンルの成立	事前学習	プリントの“The Eighteenth Century #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 12 回	The Romantic Period #1: 産業革命の影響	事前学習	プリントの“The Eighteenth Century #3”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 13 回	The Romantic Period #2: 自然観の変化	事前学習	プリントの“The Romantic Period #1”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 14 回	The Romantic Period #3: ワーズワスとコールリッジ	事前学習	プリントの“The Romantic Period #2”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第 15 回	Student Presentations: 任意の作家を時代背景と関連づけて発表、期末レポート指導	事前学習	プリントの“The Romantic Period #3”を読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。